

提携に努むること  
五、海外との聯絡

世界主要國に於ける人口問題研究の動向に鑑み日本人口問題研究委員會とも相協力し、益、諸外國に於ける人口問題研究機關研究者其の他關係國際諸機關との聯絡提携並に資料の交換に努むること

六、人口問題の知識人口政策等の普及宣傳

人口問題に關する知識の普及人口政策施設の促進を期するため中央及び地方の主要都市に於て可及的に公開講演會、懇談會等を開催すること

七、資料の印刷發行

本會に於て調査研究したる結果を印刷發行すると共に重要な人口問題資料を編輯又は翻譯し之を印刷發行すること

八、會員組織の擴大

全國的會員募集を行ひ會員組織の擴大を圖ること特に資金確立のため維持會員を新設すること

九、其の他現下の時局に鑑み人的資源保持涵養に資するため必要な事業を隨時計畫之を實行すること

(別紙)

調査研究事項

第一、人口現象に關する基礎的調査

一、人口構成に關する調査

人口の體性別、年齢別、人種別、職業別及び階級別構成に關する調査

二、人口の分布に關する調査

(イ) 人口の地域的產業的分布及び移動に關する調査

(ロ) 人口の都市集中に關する調査

三、人口の増加に關する調査

(イ) 人口の自然増加に關する調査

(ロ) 出生率及び死亡率に關する調査

(ハ) 婚姻率及び離婚率に關する調査

四、其の他人口現象に關する基礎的調査

第二、人口問題及び其の對策に關する調査

一、過剩人口に關する調査

(イ) 過剩人口に關する調査

(ロ) 過剩人口と失業との關係に關する調査

二、人口統制に關する調査

(イ) 内外移民に關する調査

(ロ) 産兒制限に關する調査

(ハ) 優生學的調査

三、一般人口對策に關する調査

日本統計學會第十回總會

日本統計學會第十回總會は、昭和十五年四月四日より六日まで三日間、大阪商科大学會議室及日本生命保險會社講堂に於て開催せられた。第一日午前の總會に引き續き第二日午前中まで共同研究「戦時經濟統計」に關し、小田橋貞壽氏の「戦時下に於ける日本工業の地方的分布」の他、十數氏の報告があつた。第二日午後及第三日午前は、自由なる題目の報告がなされた。人口問題關係のものを擧げると次の如くである。

我國人口の安定増加率 森田優三氏

人口統計の季節的變動をCircular Graphで現

はして見た結果について

丸山 博氏  
青盛和雄氏

北支蒙疆の人口について 菊田太郎氏

内地六大都市住民の生命表 水島治夫氏

婚姻率の算定方法について 岡崎文規氏

因に共同報告中、人口問題に關係あるものとしては丸山博氏の「戦時の保健統計」があり、田村市郎氏は第二日夜の公開講演で「我國の人口と南洋の資源」について講演せられた。

恩賜財團愛育會離乳期營養狀況調査

昭和十四年六月、恩賜財團愛育會特別評議委員會は、離乳期營養狀況調査を行ふことを議決、同年九月その要項を決定し、同年十二月より之に著手した。其の要項を掲ぐれば次の如くである。

離乳期營養狀況調査要項

一、主旨

本會は既に昭和八年に於ける道、府、縣市區町村別乳兒死亡率及昭和十年に於ける季節別生存期間別乳兒死亡原因の調査を了し、右兩調査に依り本邦乳兒死亡率に於ては地方的差異著しく、都市に比し農山漁村に於て高き事實と乳兒の死亡は生後十日未滿と生後六ヶ月乃至十二ヶ月間に於て著しく多き事實を確認し得たり。

更に右死亡乳兒の日月齡と死亡原因とを併せ考ふるときは乳兒の死亡率を低減せしめ進んで己が健康を維持増進せしめんには乳幼兒の營養を適正ならしむることの絶對的必要なることを察知し得たり。

仍て本會は前年の諸調査に引續き本邦各地農山漁村に付き乳幼兒殊に生後六ヶ月乃至一年六ヶ月に於